

第110号

目 次

～日本港灣振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

(大船渡市 商工港湾部 観光推進室)

- (酒田市 商工観光部 商工港湾課)

- (横浜市 港湾局賑わい振興課)

- (関東地方整備局 京浜港湾事務所・千葉港湾事務所・東京湾口航路事務所)

- (大井川港振興会)

- (みなとオアシス ちた新舞子運営協議会)

- (四国地方整備局 港湾空港部)

- (北海道新幹線×nittan地域戦略会議)

3 お知らせ

1 ポートエッセイ —「文化が人を呼ぶ」を実証？！

～日本港灣振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

イベント参加者の3分の2程度は「初めて新潟市に来る方」と想定し、新潟市役所として「新潟に良い印象を持っていただくよう、できることは何でもやる」との姿勢で臨んだ。経済界や地域と協力し、「街ぐるみの盛り上がり」を演出できたと思う。快適な天候にも恵まれ、クレームや悪い評判はほとんどなく終了することができた。「選抜総選挙」を一過性で終わらせず、「文化が人を育て、人を呼ぶ」地域づくりを前進させたい。地域の魅力アップが、インバウンドの地方拡散にもつながる。

2 トピック

●客船「飛鳥Ⅱ」おおふなと特別観光大使委嘱状交付について

大船渡市 商工港湾部 観光推進室

平成28年6月8日(水)から9日(木)にかけて、客船「飛鳥Ⅱ」が「飛鳥就航25周年記念 2016年日本一周 グランドクルーズ」で、大船渡港へ平成24年以来の1泊寄港し、当日は、平成4年に大船渡港に初入港した先代の「飛鳥」から毎年、クルーズ設定をいただき、通算31回目の寄港となった客船「飛鳥Ⅱ」へ「おおふなと特別観光大使」の第1号として委嘱状交付式を執り行いました。

「おおふなと特別観光大使」は、大船渡市の観光資源の魅力及び観光情報等を広く国内外に発信し、市の知名度向上とイメージアップを図ることを目的とします。

また、飛鳥クルーズ就航25周年記念と東日本大震災からの復興を願い、小久江 船長と戸田 市長等が「復興祈念植樹」も併せておこないました。



「飛鳥Ⅱ」おおふなと特別観光大使委嘱を
お祝いしました



東日本大震災からの復興と飛鳥クルーズ就航25周年
を記念し行った「復興祈念植樹」



植樹後、固い握手を交わす
小久江「飛鳥Ⅱ」船長と戸田 大船渡市長



飛鳥就航25周年記念「水中花火」と「大船渡海上七夕船団」
との競演

●「にっぽん丸」「ぱしふいっく びいなす」連続寄港について

酒田市商工観光部 商工港湾課

5月18日（水）、19日（木）、20日（金）に酒田港北港地区古湊ふ頭に「にっぽん丸」「ぱしふいっく びいなす」が連続で寄港しました。

18日、ロシア・ナホトカからの寄港となった「にっぽん丸」は、晴天に恵まれ、乗船客の皆様は、酒田市内にあるゴルフ製造老舗メーカーの見学や山形県を縦断する最上川での舟下りにお出かけになり、山形での観光を楽しまれて日本一周の最終港となる東京港、神戸港へと出港されました。



「Made in 酒田」商品をプレゼント



酒田市イメージキャラクター
「もしえのん」（左）「あのん」（右）もお出迎え



「やまがた 愛の武将隊」が演舞を披露



出港時の光景に市民の皆さんも感激

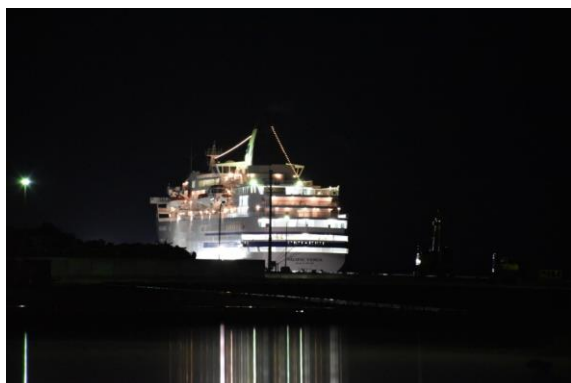
翌19日に石川県七尾港からの寄港となった「ぱしふいっく びいなす」は、19日、20日の1日停泊での寄港となりました。「酒田まつり」の宵祭り、本祭りのほか、酒田舞娘（まいこ）の演舞鑑賞や「西の伊勢参り、東の奥参り」と言われた羽黒山への参詣に出かけられた皆様が、次の寄港地となる函館港へ出港される際には、出港に合わせて打ち上げる花火を見ようと、1,000人を超える市民のみなさんがふ頭に集まり、出港する「ぱしふいっく びいなす」を盛大に見送りました。



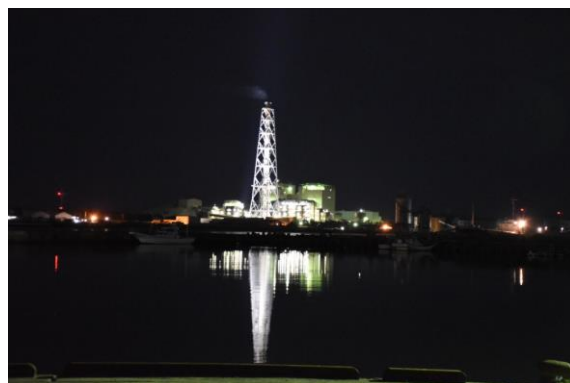
乗客のみなさんに「酒田米」をプレゼント



「飛龍保存会」による「飛龍伝説」の演舞



闇夜に浮かび上がる「ばしふいっく びいなす」



夜間停泊に合わせて近隣工場もライトアップ



1,000人を超える市民の皆さんが盛大にお見送り



出港に合わせて花火を打ち上げ

●「横浜港—メルボルン港貿易協力港30周年記念式典」を開催

横浜市港湾局 賑わい振興課

横浜港は、世界の6つの港と姉妹港、友好港、貿易協力港の関係を結んでおり、研修員や交流団の派遣・受入を中心に、港湾分野における交流を行っています。

本年、メルボルン港との貿易協力港締結から30周年を迎え、平成28年6月9日、オーストラリア・メルボルンにて「横浜港—メルボルン港貿易協力港30周年記念式典」を開催しました。オーストラリア・ビクトリア州港湾大臣を始め、在メルボルン日本総領事、在メルボルン日系企業の皆様等、44名の皆様にご出席いただき、共にこの30周年の節目をお祝いしました。

メルボルン港は、横浜港と貿易が盛んな環太平洋地域の港であり、貿易相手港としてオーストラリアで1位であったことから、昭和61年に貿易協力港提携を行いました。

以来、相互に密な交流を行っており、横浜市港湾局から14名の職員を研修生としてメルボルン港へ派遣し、またメルボルン港からも13名の研修生を受け入れてきました。

メルボルン港では、民営化を急ピッチで進めており、港湾管理の体制が大きく変わっていく予定ですが、今後も互いの港の発展のため、両港の更なる友好関係を促進していきます。



式典にて左から ニック・イージー メルボルン港湾公社CEO、
伊東横浜市港湾局長、ルーク・ドネラン ビクトリア州港湾大臣



終始和やかな雰囲気で行われた式典の様子

●『第35回横浜開港祭』へ参加しました！！

関東地方整備局 京浜港湾事務所・千葉港湾事務所・東京湾口航路事務所

平成28年6月1日(水)、2日(木)、「横浜開港祭」が横浜市臨港パーク他で開催されました。本イベントは「開港を祝い、港に感謝しよう」というテーマの下、横浜市が市民への啓発活動として毎年開催しているものです。

京浜港湾、千葉港湾、東京湾口航路各事務所からは、「たかしまⅡ」による横浜港内見学会とブースに広報パネルや「べいくりん」模型を展示し、港湾整備事業等の重要性や事務所の様々な活動の広報を行いました。また、横浜港で活躍する船の紹介として千葉港湾事務所の「べいくりん」と東京湾口航路事務所の「べいさーち」が官庁艇パレードに参加しました。

「たかしまⅡ」の横浜港内見学会には合計約180名の市民が乗船、ブースには合計300名以上が訪れ、幅広い世代の方々が興味深く話を聞いてくださいました。「船上見学により港の役割が改めて良くわかりました」「今後の港湾整備に期待しています」といったエールを送ってくださる方もおり、大盛況に終わりました。

2日間を通じて、多くの市民の方々に港湾整備事業等の重要性を理解していただくことができました。



【大盛況の展示ブース前】



【「たかしまⅡ」横浜港内見学】



【官庁船パレード「べいくりん」】



【官庁船パレード「べいさーち」】

●大井川港(静岡県焼津市)で第24回大井川港朝市を開催

大井川港振興会

平成28年4月29日(金)午前8時～12時、静岡県焼津市の大井川港で、第24回大井川港朝市が開催されました。

来場者数は15,000人(推定)。

天候に恵まれ、新鮮でおいしい生しらすや桜えびのかき揚げを求めて、多くの来場者が訪れ、会場は大いに盛り上がりました。

焼津市はもとより近隣市町から、生しらすや桜えびといった特産品を目的に来場された方が多く、みなとまちならではの雰囲気を楽しんでいました。

大井川商工会ホームページ

<http://www.oigawa.net/post-161.html>



【H28年4月29日大井川港朝市】

しんまいこ

●新舞子マリンパーク(愛知県知多市)で「中部みなとオアシス観光物産展」を開催

みなとオアシス ちた新舞子運営協議会

平成28年6月5日(日)、新舞子マリンパーク(愛知県知多市)にて「中部みなとオアシス観光物産展」を開催しました。

当日は、昼ごろまであいにくの天気でしたが、中部3県のみなとオアシスの物産を買い求める方々にぎわいました。



【中部みなとオアシス観光物産展】

●世界で2番目に大きいクルーズ船が高知港に入港(四国初寄港)

四国地方整備局 港湾空港部

6月29日、世界第2位の大きさである「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」(全長348m(新幹線14両編成相当)、高さ62m(オフィスビル15階建て相当))が四国(高知港)に初寄港しました。旅客人数は、なんと4,507人。乗組員数1,500人で合計6千人が高知港にやってきました。同船は屋内と屋外にそれぞれプールを配し、また、多数のレストラン、バスケットボール場、劇場等、様々な施設があり、長旅でも飽きがこない仕様となっています。

着岸時には地元の方々による盛大な歓迎セレモニーが催され、訪日外国人をお出迎えしました。乗客の方々は約100台のバスに分乗し高知県内の各所に観光へ出発。高知の食と歴史・文化を堪能され、日本最後の寄港となった高知港を「和太鼓」、「よさこい踊り」で見送られながら後にしました。



●森蘭航路が遂に初の商品化

北海道新幹線×nittan地域戦略会議

胆振・日高（日胆＝“にったん”）管内の全18市町や経済団体などで構成する「北海道新幹線×nittan地域戦略会議」では、昨年からの室蘭港と森港を結ぶ森蘭航路クルーズの商品化に向けて、国内外の旅行会社等を対象にしたモニターツアー等を実施してきましたが、この度、これらの取り組みが実を結び、初めて商品化することが決まりました。

東京発着2泊3日、飛行機とクルーズと3月に開通したばかりの北海道新幹線を組み合わせた本ツアーは、新千歳空港到着後、札幌を經由し、洞爺湖温泉で1泊。2日目は、室蘭市内を巡り、チャーターした小型クルーザーで噴火湾を横断。下船後は、大沼国定公園などを観光し、函館湯の川温泉に宿泊。最終日は、函館市内や北斗市きじひき高原などを回り、北海道新幹線で帰京。

北海道の魅力をここぞとばかりに盛り込んだ本ツアーは、7月～8月にかけて計7回催行予定（今後の申込状況により変動）。

今年の夏は、ご家族で、カップルで、気ままな一人旅で、北海道の涼しい夏を“旬”なツアーで満喫してみませんか？

【参考】催行回数について

* 募集：合計11回

- ┌ ・ 催行決定：7月1回、8月6回
- ├ ・ 申込受付中：1回
- └ ・ 催行中止：3回



モニターツアーの様子



洋上から眺める白鳥大橋と駒ヶ岳

3 お知らせ

◇鳥羽みなとまつり

約 5,000 発の花火が打ち上げられ、花火や遊覧船の光が水面に反射して幻想的な景色を楽しむことができます。

近鉄・JR鳥羽駅前鳥羽マリンターミナル周辺

開始時間：花火打上 20:00～

(公共交通機関)

近鉄・JR鳥羽駅下車 徒歩8分

鳥羽バスセンター下車 徒歩7分

(車)

伊勢自動車道伊勢 IC より伊勢二見鳥羽ライン

經由約 10 Km

※会場周辺に有料駐車場あり（約 500 台）

※駐車場が少なく早い時間に満車になります。

なるべく公共交通機関をご利用ください。

打上発数：5， 000発以上

詳しくはホームページで

<http://www.toba.or.jp/minatofes/>



◇～未来に残そう 青い海～

第31回東京湾クリーンアップ大作戦 “きれいな海をまもる船 大公開 in 横浜港”

開催日：平成28年7月23日（土）

開催場所：横浜港新港5号ふ頭

概要：「クリーンアップ大作戦」は「海の月間（７月１日～３１日）」の行事として、東京湾内における海面浮遊ゴミ及び油の回収業務の重要性と、その実態を市民の皆様にご存知いただくとともに、ゴミを海や川に捨てないように呼びかけを行うものです。

横浜港では、”きれいな海をまもる船 大公開 in横浜港“と題して、東京湾の浮遊ゴミ回収の実態や海の環境改善の取り組みを紹介したパネル展示、国土交通省関東地方整備局所属の清掃兼油回収船「べいくりん」や横浜海上保安部所属の消防船の船内見学、横浜市所属の清掃船、消防艇の展示などを行なうイベントを開催しますので、是非お出かけください。

http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/clean_up/index.html

◇『たてやま海まちフェスタ2016』を開催！！

開催日：平成28年7月30日（土）午前10:00～午後15:00

開催場所：渚の駅たてやま、海上自衛隊館山航空基地、館山港（館山夕日桟橋、自衛隊岸壁、耐震岸壁）

内容：“館山湾を活用した海辺のまちづくり”を推進する館山市では、多くの人々が、海や船に触れ、“海の魅力を満喫してもらいイベント”『たてやま海まちフェスタ2016』を開催します。

今年度も、NPO団体や海上自衛隊、千葉海上保安部など多くの関係団体のご協力をいただき、“渚の駅”たてやま及び海上自衛隊館山航空基地を主会場に、ヨットやシーカヤックなどの乗船体験のほか、海で活躍する海上自衛隊や千葉海上保安部の活動紹介に加え、関東地方整備局千葉港湾事務所所属の清掃兼油回収船「べいくりん」などの船内見学が行われますので、是非お出かけください。

主催：たてやま海まちフェスタ実行委員会、館山市、館山市教育委員会

※館山市公式HP <http://www.city.tateyama.chiba.jp/minato/page100217.html>

◇第10回ビーチライフ in 新潟

開催日時：平成28年7月31日（日）9:30～16:00 * 荒天時中止

会場：新潟西海岸（日和田浜海水浴場）

概要：ビーチスポーツ（ビーチフラッグス、ビーチ相撲等）をはじめ、アサリ採り、スイカ割り、宝さがし、モーターボートや水上バイクの操船体験を実施。ビーチサッカー大会とビーチバレー大会も同時開催（事前募集）

主催者：第10回ビーチライフ in 新潟実行委員会

問合せ：実行委員会事務局 吉江 常浩 025-223-7716

◇輪島港における緊急支援物資輸送等訓練及び一般公開

開催日：平成28年8月上旬

会場：輪島港

概要：大型浚渫兼油回収船「白山」による緊急物資輸送訓練及び油回収訓練等を実施

主催者：輪島市

共催：国土交通省北陸地方整備局

問合せ：国土交通省北陸地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課

TEL025-280-8759

◇真夏の荒川～東京港を巡る船上親子学習

開催日：平成28年8月18日（木）○Aコース10:00～12:30 ○Bコース13:30～16:00

見学コース ○Aコース：番所橋船着場（乗船）→荒川ロックゲート→荒川航行→東京湾航行→東京ゲートブリッジ→青海客船ターミナル（下船）

○Bコース：青海客船ターミナル（乗船）→東京湾航行→東京ゲートブリッジ→荒川航行→荒川ロックゲート→番所橋船着場（下船）

内容：関東地方整備局荒川下流河川事務所と東京港湾事務所は、2事務所合同企画として、平成28年8月18日（木）、小中学生とその保護者を対象に、荒川・東京港“船上”親子学習会参加者を募集します。

この学習会は、河川・港湾施設を水上からの視点で見て頂き、荒川放水路と東京港の役割につ

